

# 行田市公共下水道事業経営戦略

## (原案) について

### 第3回 下水道事業運営審議会

令和2年 12月10日

行田市 都市整備部 下水道課

# 審議内容・スケジュール

第1回

経営戦略の概要

※書面開催

第2回

行田市公共下水道事業経営戦略  
(素案)の説明・審議

- 現状と課題
- 基本理念・基本目標

第3回

行田市公共下水道事業経営戦略  
(原案)の説明・審議

- 事業計画と財政の見通し
- 進捗管理

行田市公共下水道事業経営戦略(案)

パブリックコメント(12月~1月)

第4回

意見反映後の経営戦略(案)について

2月上旬~3月中旬予定

# 本日審議いただく内容

## (1) 経営戦略（原案）の説明・審議

- ・事業計画と財政の見通し

## (2) パブリックコメントの実施について

# 事業計画と財政の見通し

# 下水道事業の会計について (1)



官公庁会計

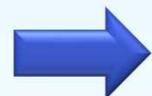
一般会計

官公庁会計

- ◆ 単式簿記  
(一般家庭の家計簿と同様)  
... 現金の増減を記帳

支出

収入



公営企業会計

下水道事業

公営企業会計

- ◆ 複式簿記 (民間企業と同様)  
... 現金の増減だけでなく、  
その理由も記録

費用

収益

資産

負債

資本

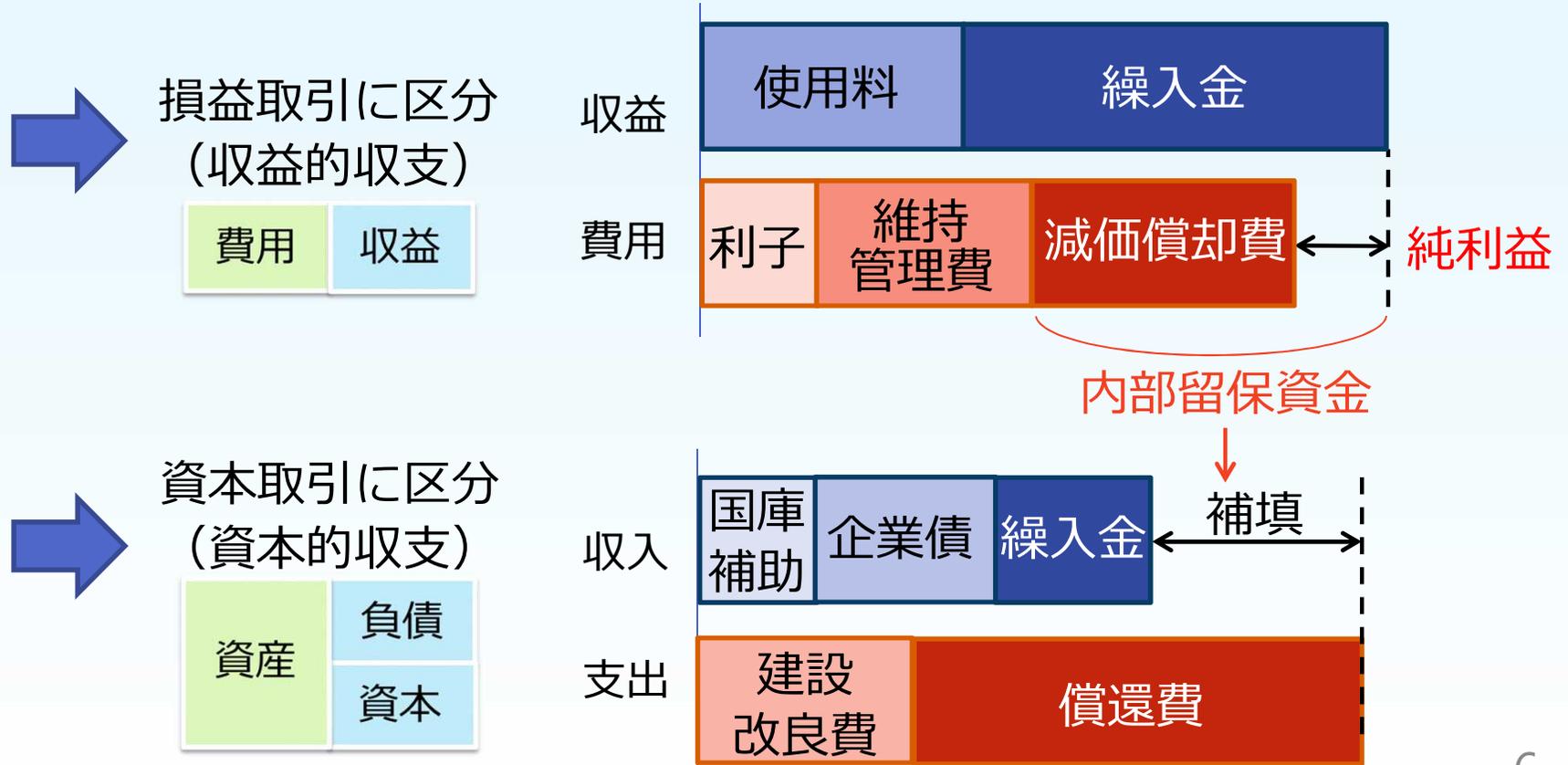
例) 下水道使用料10万円を受領  
⇒収益10万円の発生、現金資産10万円の増加

# 下水道事業の会計について (2)

官公庁会計



公営企業会計



# 下水道の会計について (3)

## 【一般会計繰入金の種類】

### ①基準内繰入金

…総務省が繰入するべきと認めたもの  
(一般会計で負担すべき経費)

例) 雨水処理に要する経費、  
分流式下水道等に要する経費

### ②基準外繰入金

…基準内繰入金以外の繰入金

収入不足による補てん

## ①投資について

投資項目	内容
新規整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化区域を中心に污水管きよを整備</li> <li>年間整備量：令和8年度まで年間5ha、 令和9年度から年間2ha</li> <li>令和6年度から令和8年度まで幹線を整備</li> </ul>
下水道ストック マネジメント (点検・調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度までマンホール点検を実施、 毎年管路内調査を実施</li> <li>ポンプ施設は毎日の点検時に異常の有無を確認</li> </ul>
下水道ストック マネジメント (修繕・改築)	<ul style="list-style-type: none"> <li>管路内調査結果に基づく改築・更新</li> <li>老朽化が進行する谷郷、緑町ポンプ場を改築・更新</li> <li>ポンプ場の耐震化をあわせて実施</li> </ul>

## ②投資以外の経費について

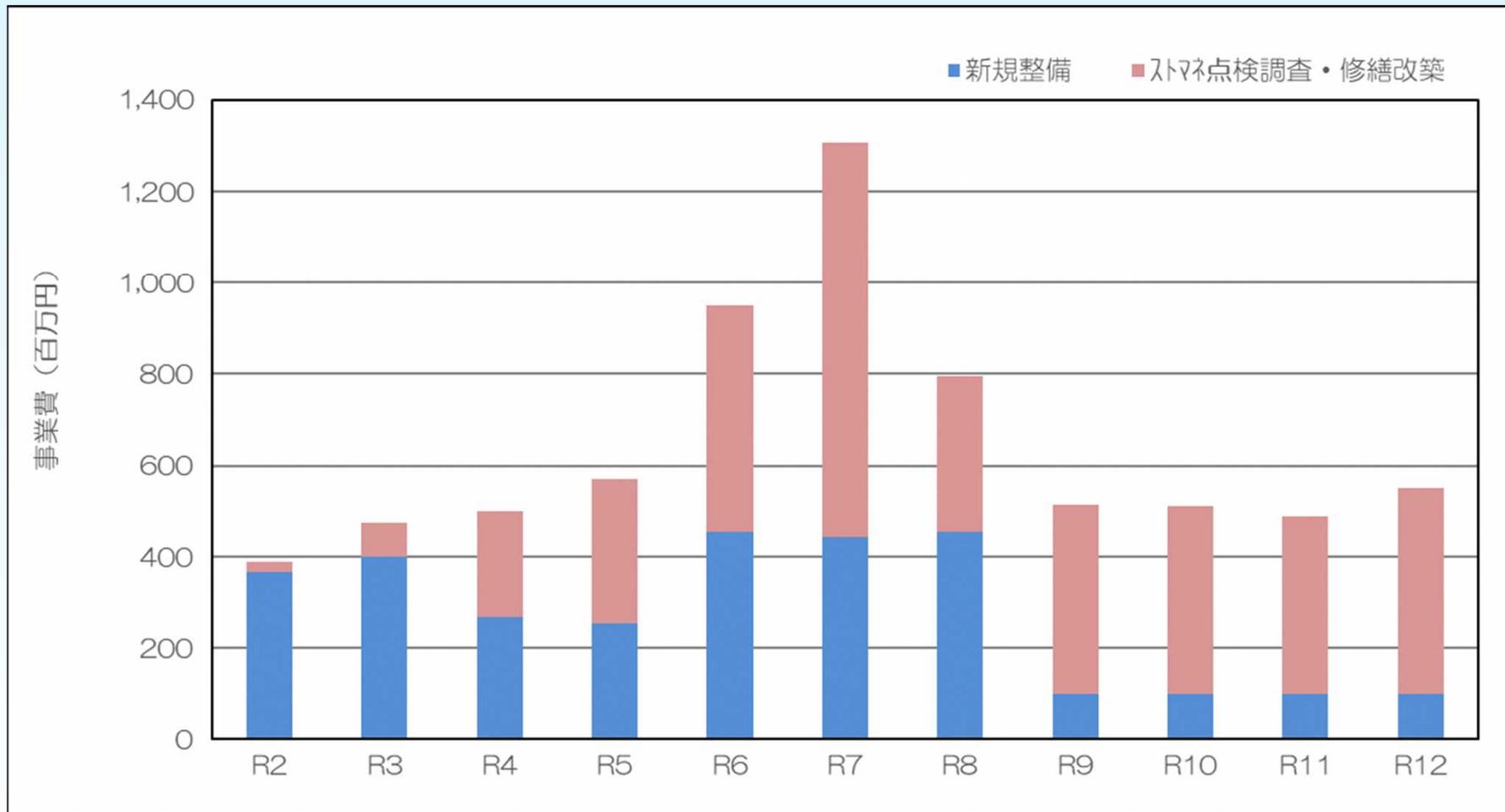
その他の経費項目	内容
企業債償還金 ・支払利息	・ 借入条件（償還期間30年（うち据置5年）、利率1.0%）により算出
減価償却費	・ 資産の標準耐用年数により定額法で算出
流域下水道 維持管理負担金	・ 将来の有収水量の増減率を加味して算出
その他の経費	・ 令和2年度の予算額を採用

## ③財源について

財源項目	内容
下水道使用料	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少や新規整備事業による処理区域内人口の増加を見込み算出</li> </ul>
企業債	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度における建設改良費に対する企業債の割合により算出</li> </ul>
一般会計繰入金	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準内繰入金は現行の繰入基準に基づき算定</li> <li>基準外繰入金は現行の3.5億円から段階的に0円まで減少を見込み算出</li> </ul>
国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度における建設改良費に対する国庫補助金の割合により算出</li> </ul>
受益者負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度における建設改良費に対する受益者負担金の割合により算出</li> </ul>

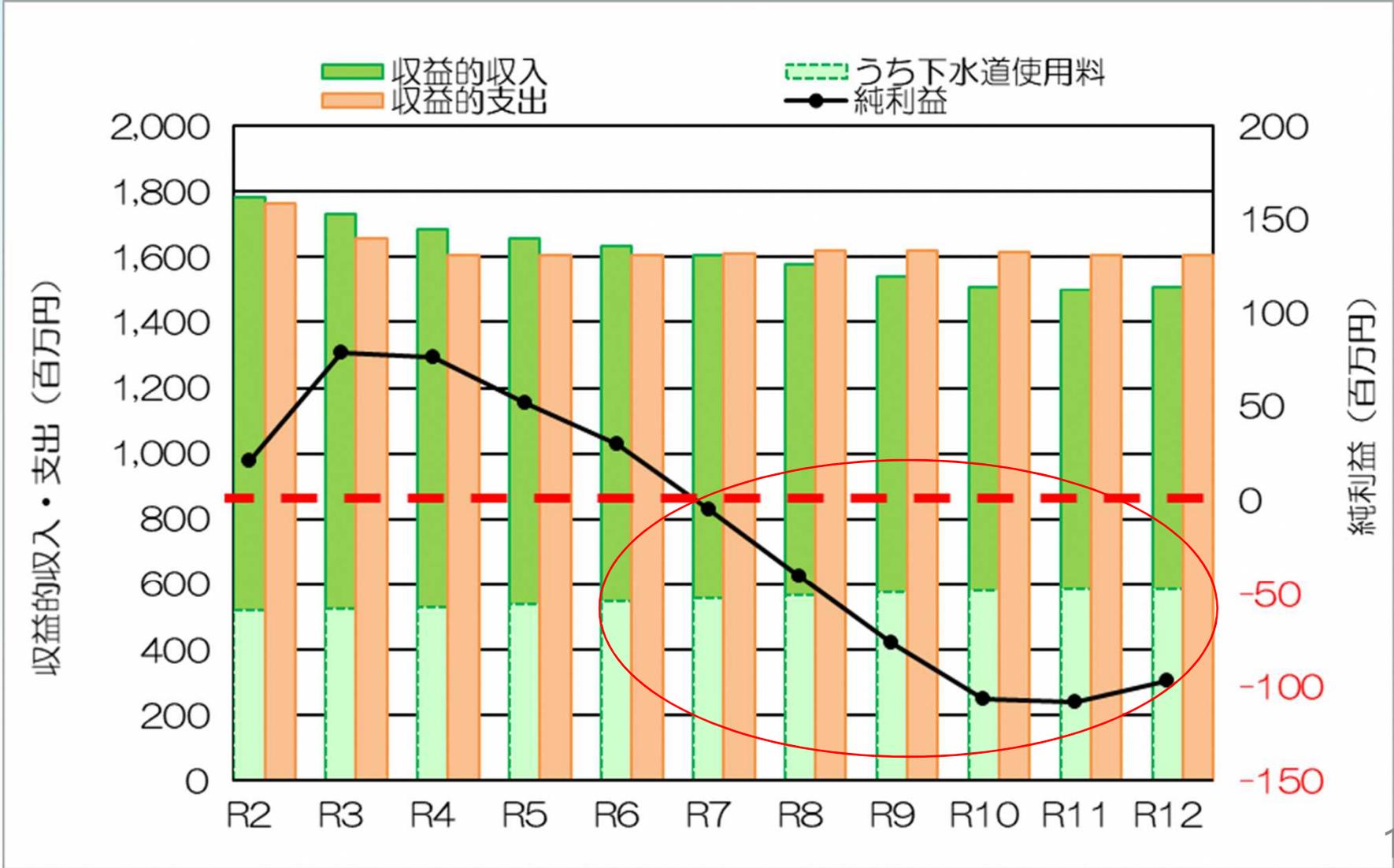
# 事業費の見通し

✓ 事業費は、計画期間内で年間約4億円から13億円で推移し、平均すると年間約6.7億円を見込む



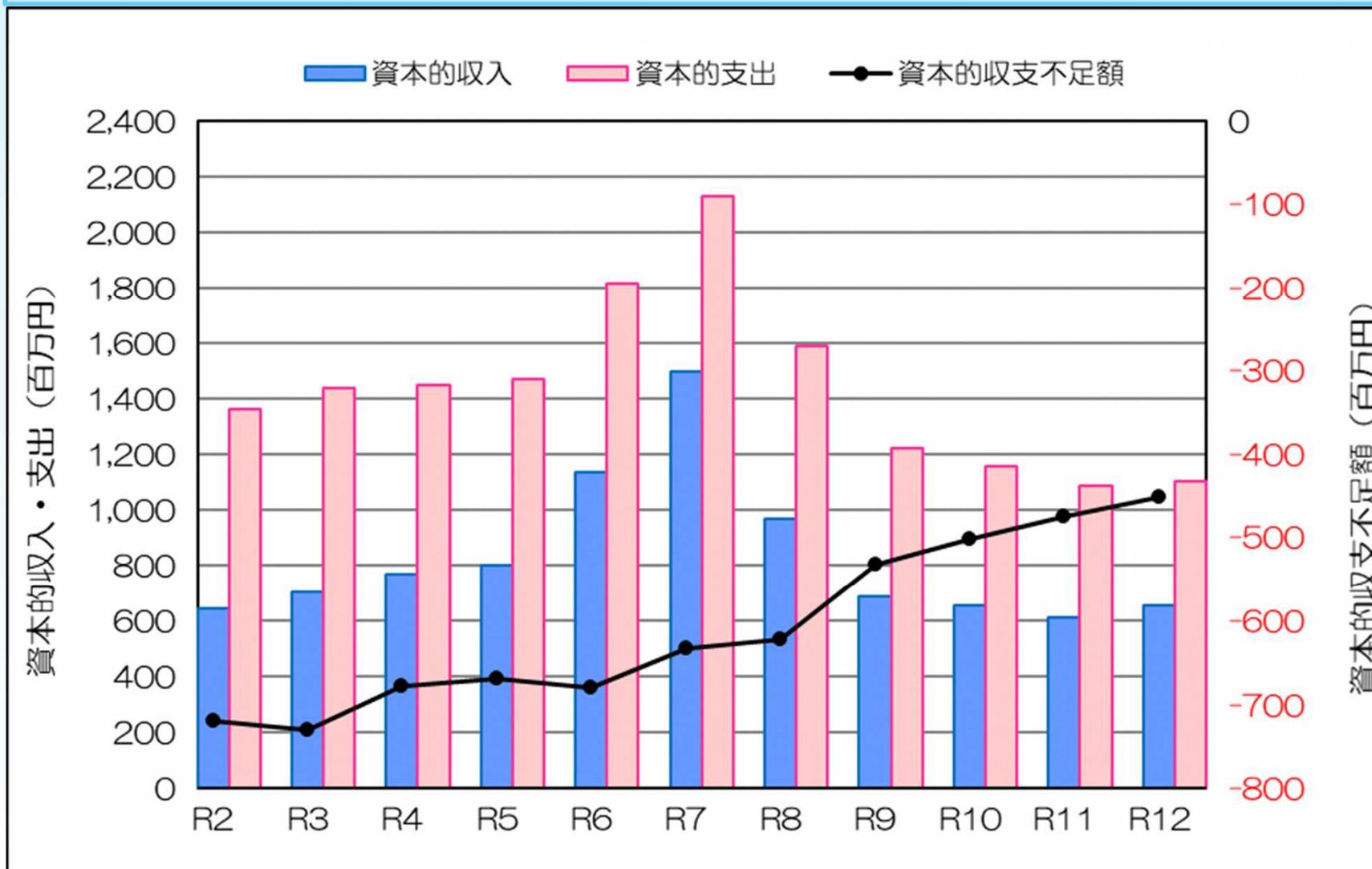
# 収益的収支の見通し

✓ 令和6年度までは純利益が確保されるが、令和7年度以降は損失に転じる



# 資本的収支の見通し

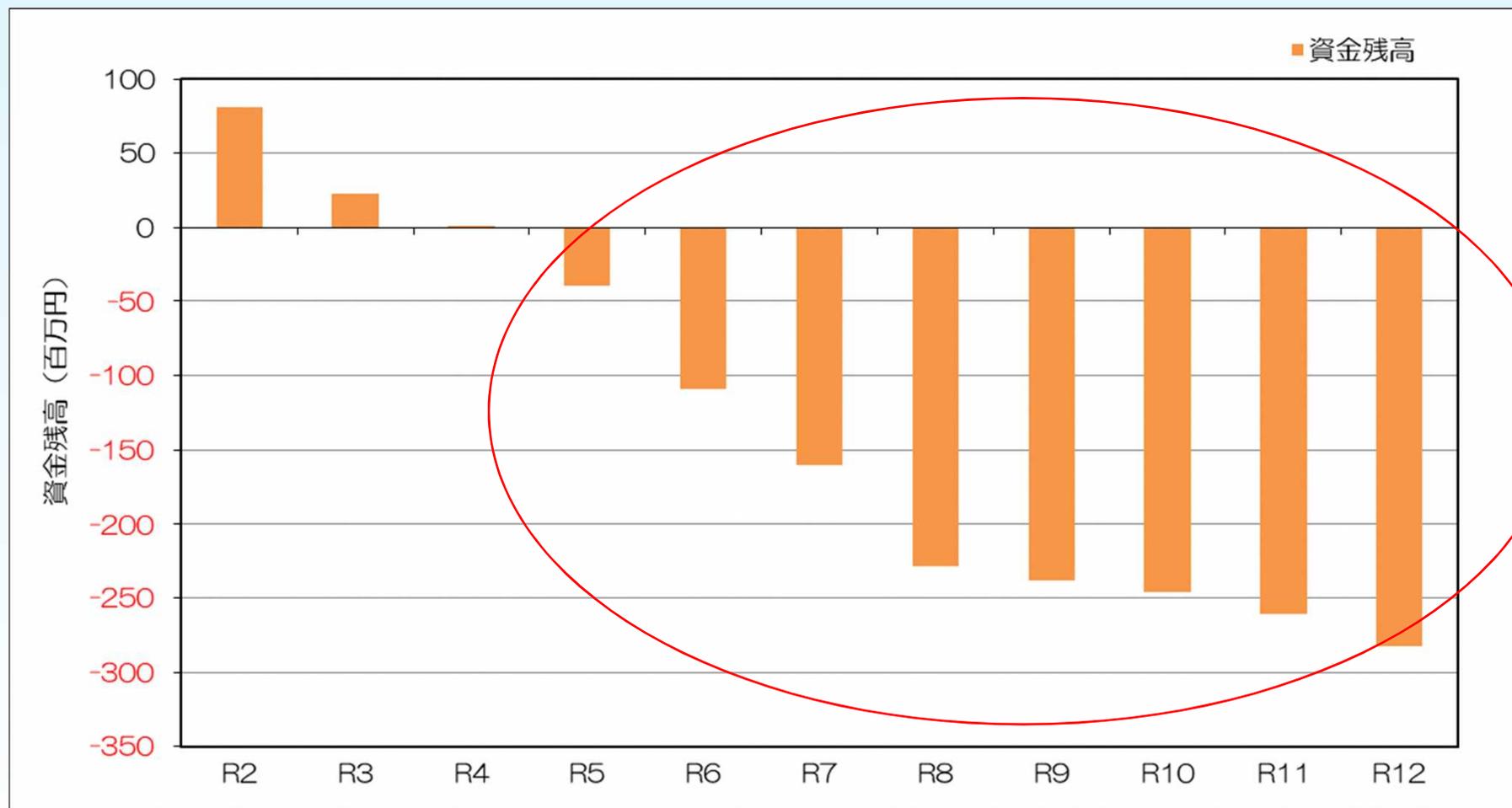
- ✓ 資本的収支の不足額については、減価償却費等により留保された資金で補てんする



# 資金残高の見通し（内部留保資金）

原案 P.49

- ✓ 令和5年度からは資金不足となることから下水道事業を継続できない



# 企業債の見通し

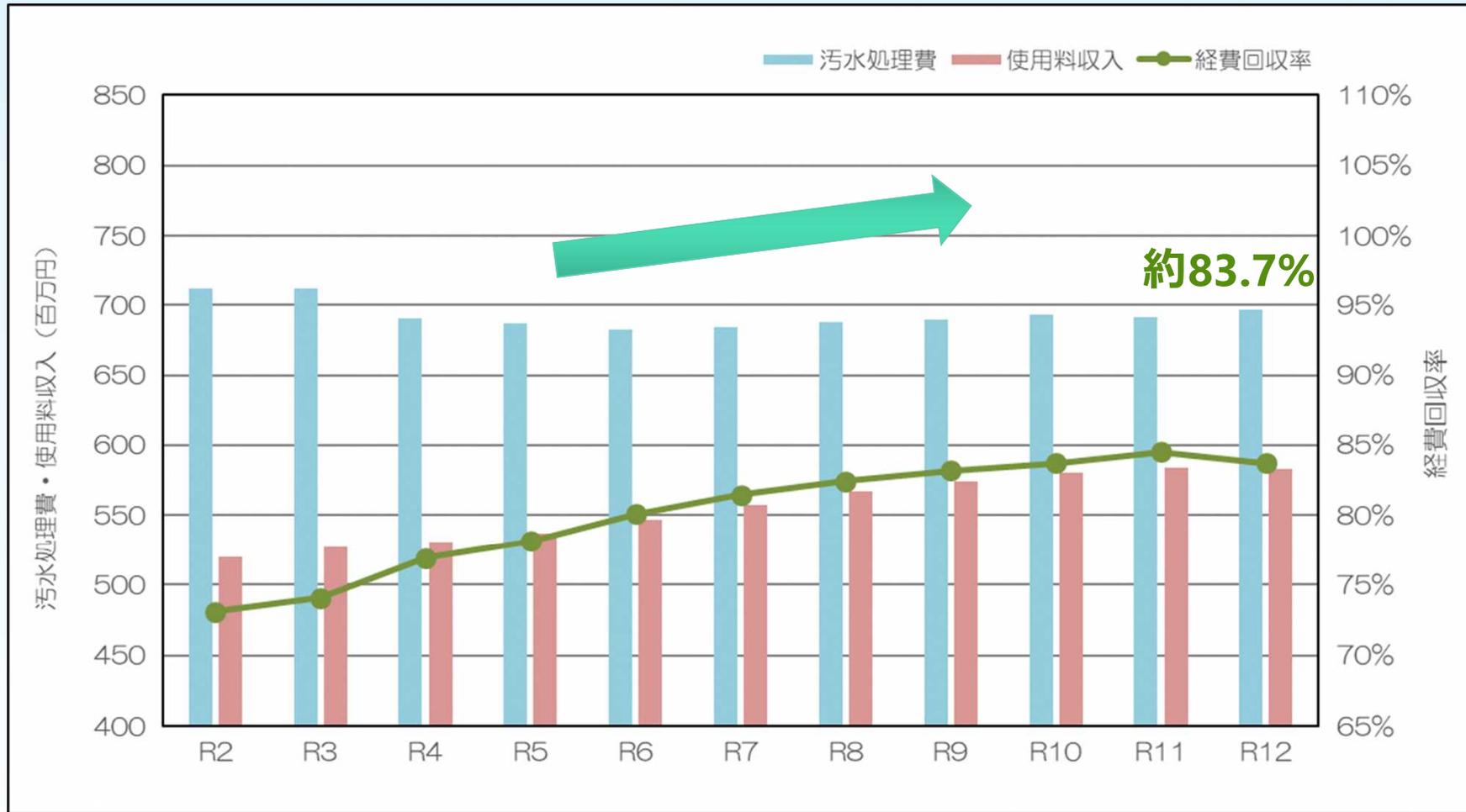
原案 P.50

✓ 過去に借入を行った企業債の償還が進み、減少傾向で推移



# 経費回収率の見通し

✓ 経費回収率は、令和4年以降上昇するものの、県内類似団体平均値より低い



# 経営の見通し

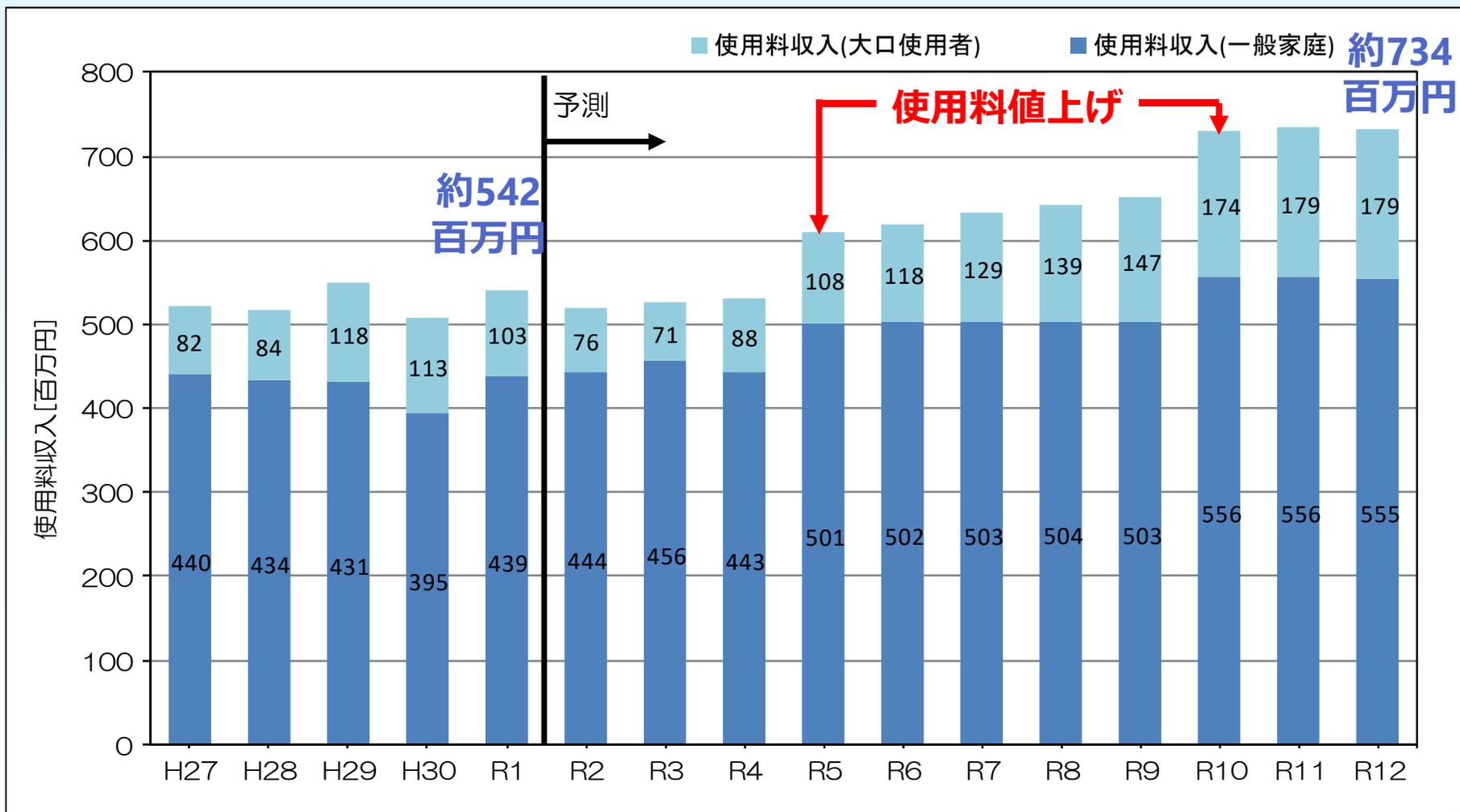
原案 P.51-52

- ✓ 財政シミュレーションの結果を基に、今後10年間の事業経営を試算  
将来的に資金不足が予想されるため、使用料見直し案をあわせて試算

使用料見直し案・・・令和 5年度 13%値上げ  
令和10年度 12%値上げ

# 使用料収入の見通し

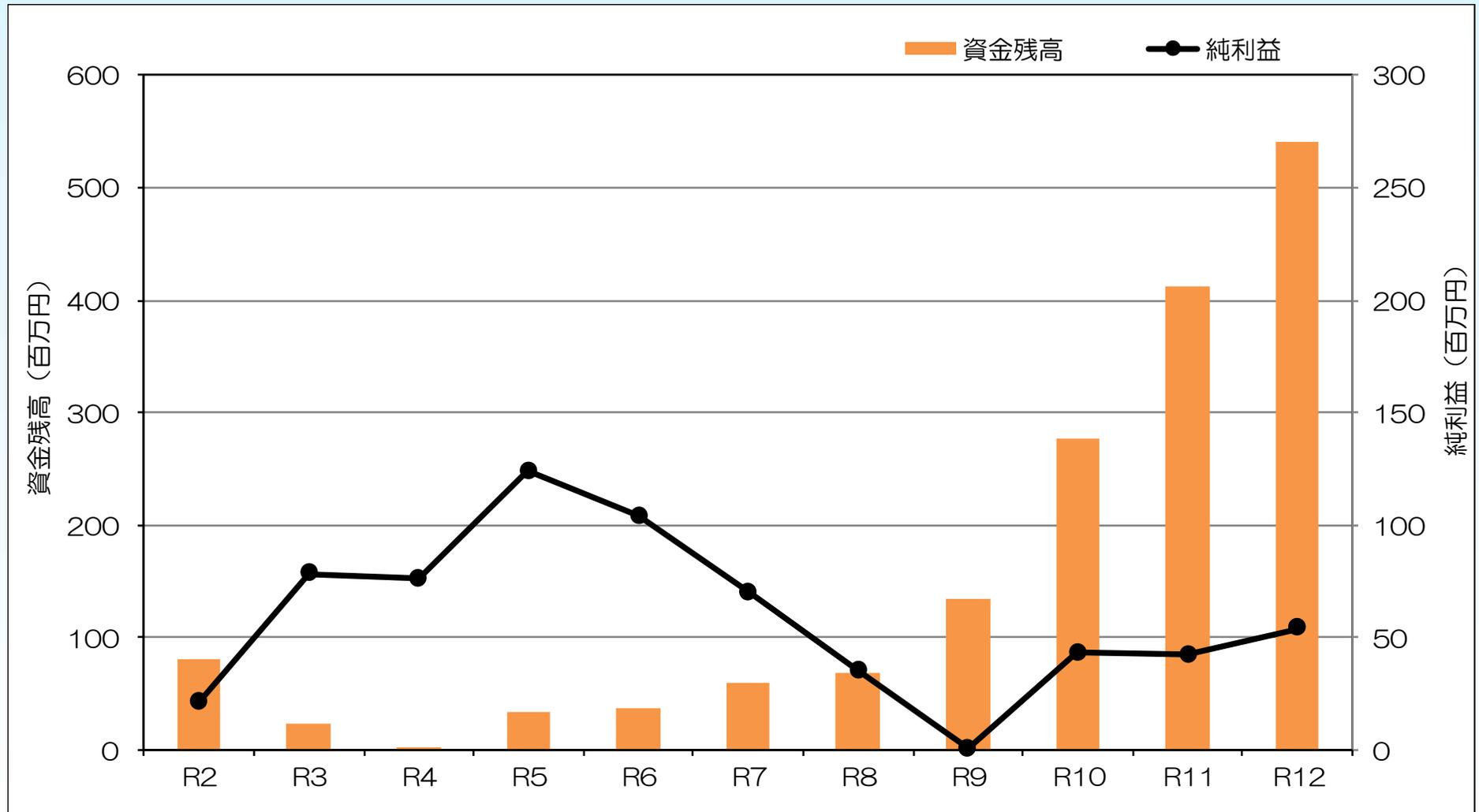
✓ 令和5年度及び令和10年度に使用料を値上げしていることから、使用料収入が増加



# 資金残高及び純利益の見通し

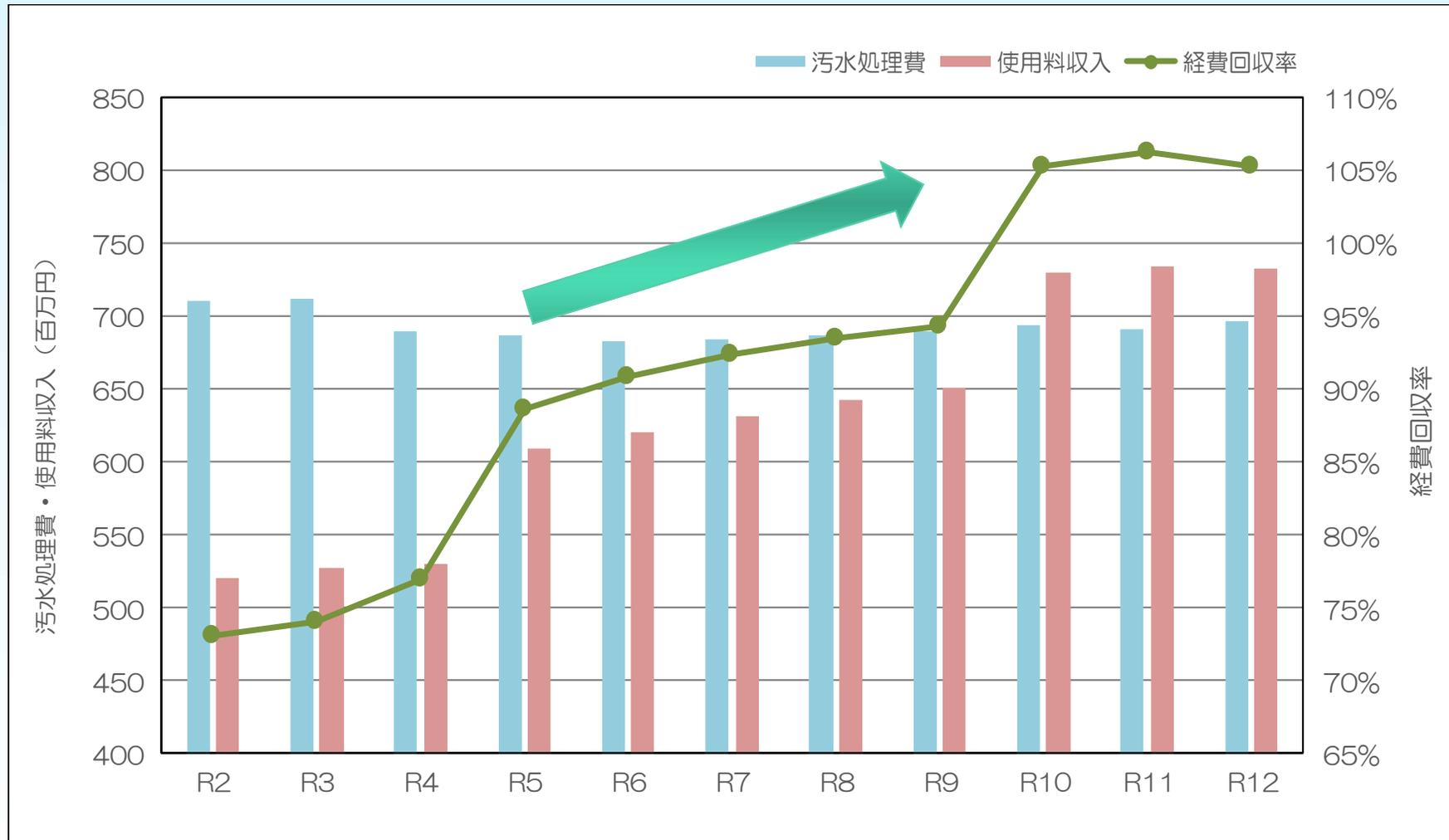
原案 P.54

計画期間内の資金残高及び純利益はともに確保され、  
令和12年度末時点の資金残高は約5億4千万円となる



# 経費回収率の見通し

経費回収率が上昇し、令和10年度には100%を超える見通し



この結果から、下水道事業を将来にわたって継続していくために、適正な使用料体系を検証し、使用料の値上げの必要性について検討します。なお、これには市民の理解が不可欠であり、丁寧な情報の発信に努めるとともに、第5章に示した施策を確実に実行し、経営の効率化に不断の努力を重ねます。

# フォローアップ体制

# 事業評価と総合評価

- ◆ 施策ごとに事業評価（実施内容、進捗状況、施策の達成度の確認）を毎年実施
- ◆ 新たな計画や見直しを踏まえて、中間年に経営戦略の総合評価を実施し、経営戦略を見直し



# 定量的評価のための指標

原案 P.56

指標	現状値 令和元年度	目標値 令和12年度	関連施策
下水道の整備率	81.8%	86.0%	1-(1) 污水管整備の継続
全体計画区域の見直し(汚水)	未実施	見直し	1-(2) 全体計画区域の見直し
下水道総合地震対策計画の策定	未策定	策定	1-(3) 下水道総合地震対策計画の策定
下水道施設の耐震化	実施	実施継続	1-(4) 既存下水道施設の耐震化
全体計画区域の見直し(雨水)	未実施	実施	1-(5) 雨水対策の推進
ストックマネジメント計画に基づく管理	実施	実施継続	2-(1) 計画的な維持管理及び修繕・改築の推進
下水道BCPの運用	運用	運用継続	2-(2) 下水道BCPの継続的運用
水洗化率の向上	91.4%	96.0%	3-(1) 水洗化の促進
下水道使用料体系の見直し	未着手	見直し検討	3-(2) 下水道使用料の見直し

## 議題（２）パブリックコメント（市民意見募集手続） の実施について

### パブリックコメント（市民意見募集手続）とは

市の政策又は施策の形成過程において、その案に関連する資料等を公表し、市民等から意見又は情報を求め、その意見等を検討して意思決定を行うとともに、意見等に対する市の考え方を公表する一連の手続き。

### 手順

下水道課、市政情報コーナーでの閲覧  
行田市ホームページへの掲載による公表  
⇒ 意見募集 ⇒ 提出意見の検討 ⇒ 経営戦略（案）の作成  
⇒ 第4回審議会での審議 ⇒ 結果の公表

### 実施期間

12月中旬以降

# 第4回審議会の予定

開催予定日：2月上旬～3月中旬

- 1 パブリックコメントの結果公表
- 2 パブリックコメントの結果を反映させた修正案の提示
- 3 経営戦略（案）の審議